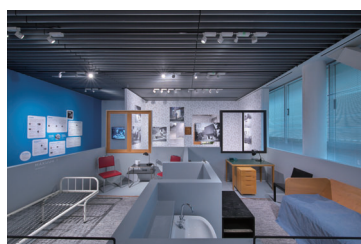


## ギャラリー エークウッドは、 「第16回西洋美術振興財団賞」を受賞することになりました。

公益財団法人ギャラリー エークウッドは、公益財団法人西洋美術振興財団(所在地：東京都台東区、理事長：高階秀爾)より、「アイノとアルヴァ 二人のアアルト」展のコンセプト立案と実現において中心的な役割を果たした功績が評価され、第16回西洋美術振興財団賞「文化振興賞」を受賞することになりました。

今回の受賞は、北欧フィンランドのモダニズム建築の巨匠アルヴァ・アアルト(1898-1976)とその妻アイノ(1894-1949)の二人の協働による25年間の建築とデザインの軌跡を追い、アアルト建築の理想たる環境特性に配慮した「自然との共生・快適な居住性」という建築原理を共有した二人の、互いの才能を認めあい、影響しあい、補完しあいながら、真のパートナーとして作品をつくり続けたという新しい解釈を示し、学術的に優れた展覧会等の実現に貢献したことが評価されました。本展に先立ち2016年、2019年から2020年に同ギャラリーと竹中大工道具館で3つの関連企画展を開催し、これらの蓄積を総合的に大きく結実させ、2021年3～6月に世田谷美術館、7～8月に兵庫県立美術館で「アイノとアルヴァ 二人のアアルト」展を実現しています。本展覧会はコロナ禍ではありましたが、アアルト・ファミリーコレクション、アルヴァ・アアルト財団、公益財団法人竹中育英会の特別な協力を得て実現することができました。今後とも良質な企画を通して建築文化へ、貢献を続けて参りたいと思います。



ギャラリー エークウッド /2019  
撮影：光斎昇馬



竹中大工道具館 /2020  
撮影：久保博司



世田谷美術館 /2021  
撮影：上野則宏



兵庫県立美術館 /2021  
撮影：古川泰造

### 【西洋美術振興財団賞について】

2006年、西洋美術振興財団により創設。過去2年間に開催された西洋美術に関する展覧会の中から、西洋美術の理解と文化交流の促進、西洋美術研究発展に寄与のあった優れた活動に対し、顕著な業績が認められた個人を「学術賞」、団体を「文化振興賞」として顕彰するものです。

本年度は学術賞2件、文化振興賞1件が選ばれ、本賞の顕彰式は、10月29日(金)に東京、上野「精養軒」で行われる予定。



GALLERY A<sup>4</sup> キャラリ-エークウッド

ギャラリー エークウッドの詳細については以下のHPをご参照ください。

ギャラリー エークウッド ホームページ <http://www.a-quad.jp/>